

## 医療従事者の負担軽減及び処遇改善計画（令和2年度）

当院では、医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制を整備し、次のような取り組みを行っています。

### 取組の目標

当院が地域の急性期病院であることを再認識し、急性期病院の役割を果たすため、医師、看護師、医療従事職員等との間での業務の役割分担を推進して、全職員の負担軽減に対する体制を確保することを目標とする。

### 令和2年3月現在の勤務医の勤務状況

1. 医師数 常勤46名（研修医除く） 非常勤40名（常勤換算6.2名）
2. 常勤医師平均業務時間 平均週47時間45分
3. 当直回数 平均月1.6回

### ●医療従事者の負担軽減及び処遇改善

#### 項目①外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携など外来縮小の取り組み

##### ○令和元年度までの取り組み

- ・地域医療支援病院の承認（平成23年度）を受け、外来医療の機能分化を推進してきた。

##### ○現状

- ・令和元年度 紹介率 95.0%・逆紹介率 100.47%

##### <逆紹介率の推移>

平成27年度	6068件	74.0%	平成28年度	6160件	76.8%
平成29年度	6642件	84.7%	平成30年度	6607件	81.64%
令和元年度	7667件	100.4%			

##### ○令和2年度の目標

- ・紹介率・逆紹介率ともに80%を目指す。

##### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・4～8月 紹介率 101.48% 逆紹介率 111.10%
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により紹介・逆紹介患者数共に減少したが、紹介率・逆紹介率は高い値で推移している。診療制限期間中は、各診療科の方針を近隣医療機関への周知や、紹介受診予約日の調整等、感染を防止しつつ外来診療が継続できるよう配慮した。

○令和元年度までの取り組み

- ・地域連携パスの運用を推進してきた。

○現状

- ・大腿骨頸部骨折・脳卒中連携パスの運用の推移

平成28年度 241件      平成29年度 282件

平成30年度 242件      令和元年度 239件

- ・参加医療機関との3回／年の会合の実施。
- ・連携病院との症例検討会の実施。

○令和2年度の目標

- ・地域医療機関との連携を深め、連携パスのスムーズな運用に努めることで、逆紹介を推進する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・4～8月 109件（昨年同時期比+6）
- ・地域医療連携パスはコロナウイルス感染症の影響を受けることなく運用している。
- ・医療機関の会合は行える状況にないが、日頃の電話連絡や書面の活用等により、近隣医療機関との関係が希薄にならないよう心掛けている。

○令和元年度までの取り組み

- ・入退院支援センターを設置し、入退院支援の充実を図っている。

○現状

- ・退院支援担当者により、退院後必要時、訪問診療等の対応が可能な医療機関の情報提供を行っている。

○令和2年度の目標

- ・看護師面談担当人員が減少するが、退院支援担当者との情報を共有し、今まで通り、入院早期からの退院支援の充実により、逆紹介推進に寄与する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・看護面談担当者との情報共有の他、病棟でのカンファレンス等の参加に努め、早期に退院困難患者の支援を開始して、状況に応じた逆紹介先等を提案、調整している。

○令和元年度までの取り組み

- ・地域医療連携ネットワーク活動や新規開業クリニックの訪問活動により、医療機関の専門性を把握し、逆紹介情報に役立ててきた。

○現状

- ・連携室への問い合わせの際には適切な紹介先の情報提供が行えるようにしている。

○令和2年度の目標

- ・ひき続きネットワーク活動やクリニック訪問により、地域の医療機関情報を把握し、逆紹介を支援する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・ネットワーク活動は自粛せざるを得ない状況である。訪問活動は新規開業クリニックのみとしている。

○令和元年度までの取り組み

- ・予約枠数を特に制限していない。

○現状

- ・予約枠数を超えて、予約が入っている。

○令和2年度の目標

- ・現状を把握し、適性な予約枠数を設定する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・更なる現状把握を行い、正しい予約枠の設定を検討中。

**項目**②院内保育所の設置（夜間帯の保育や病児保育の実施が望ましい）

○令和元年度までの取り組み

- ・職員の子育てを支援し、安心して働き続けられる勤務環境整備を目的として院内保育所の設置を検討している。

○現状

- ・開院時の運営開所については病院移転後の経営状況を勘案し開所を延期している。

○令和2年度の目標

- ・経営状況も含め院内保育所開所の可能性および職員の子育てを支援、働き続けられる勤務環境整備を継続して検討していく。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・現在、新型コロナウイルス感染症対応のため、院内保育所スペースを臨時的に他の用途に転用しているが、委託費運営経費等病院負担を考慮しつつ検討を継続。

項目③医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減

○令和元年度までの取り組み

- ・主たる業務は文書作成補助。その他、担当者毎で担う業務が多少異なっている。

○現状

- ・令和2年2月、20：1取得。

○令和2年度の目標

- ・外来代行業務を他の診療科にも拡大する（4月より循環器内科外来で代行開始）。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・4月より循環器内科医師1名、外来代行入力業務開始。

項目④病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善

○令和元年度までの取り組み

- ・受持ち制から複数主治医制への変更導入を推進している。
- ・福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請。

○現状

- ・診療科の特性があり、複数主治医制の導入は全科にて実施されていない。
- ・二次救急輪番日には、17時～21時のシニア医師の当直支援や福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請し負担軽減を実施している。
- ・安全衛生委員会と連携し長時間労働となる医師の業務現状を把握し、健康管理面を含め、診療部長へ報告対策を実施。

○令和2年度の目標

- ・診療科の特性を踏まえつつ、可能な限り、複数主治医性制の導入推進。
- ・4月より全科二次輪番日における交替制勤務の導入、勤務明けの休みを確保。
- ・病状説明（IC）時間内実施の推進。
- ・時間外の入院患者死亡確認及びお見送りを当直および夜勤医師へ委任。
- ・時間外オンコール呼出し診療科ルール作成の取り組み。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・一部達成
- ・二次救急輪番日に17時～21時のシニア医師当直支援および福島医大救急科の他、特定診療科への当直支援を実施。
- ・令和2年4月より全科二次輪番日の交替制勤務を導入し勤務明けの休みを確保。
- ・時間外、休日、深夜の入院患者死亡確認およびお見送りを当直または夜勤医師へ委任。

項目 ⑤特定行為研修修了者である看護師複数名の配置及び活用による病院勤務医の負担軽減

○令和元年度までの取り組み

- ・平成29年度福島医大特定行為研修に1名受講。

区分：創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、栄養及び水分に係る薬剤投与関連、ろう孔管理関連。

○現状

- ・皮膚科医師、心臓血管外科医師の手順書及び指導により、診療介助から特定行為を実施することがある。

○令和2年度の目標

- ・HCU、ERセンター及び病棟の急変時対応能力を高める。

- ・令和2年度福島医大特定行為研修に1名受講予定。

区分：呼吸器（気道確保、人工呼吸器）関連、動脈血液ガス分析関連。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・特定行為研修1名研修中（3月終了予定）。

項目 ⑥院内助産又は助産師外来の開設による病院勤務医の負担軽減

○令和元年度までの取り組み

- ・助産師外来の充実。

○現状

- ・助産師外来の実施により、産科婦人科外来医師の負担軽減につながっている。

○令和2年度の目標

- ・助産師外来を継続させる。

- ・地域の分娩施設の減少を踏まえ、より選ばれる分娩施設を目指す。

- ・分娩件数年間200件。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・分娩件数増加中（4～8月前年度比+23件）。

項目⑦看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

○令和元年度までの取り組み

- ・入院セット導入（H24年度）。病室ごとに巡回。
- ・P F Mで入院時カルテ準備、書類の説明実施。
- ・1病棟に夜勤看護補助者を配置。

○現状

- ・25対1急性期看護補助体制加算を令和元年6月から12月まで算定できた。

○令和2年度の目標

- ・再度、25対1急性期看護補助体制加算が算定できるよう看護補助者の配置に留意する。
- ・看護補助者が夜勤に入る病棟を2病棟にして、100：1夜間急性期看護補助体制加算が算定できるよう準備する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・5月から、25対1急性期看護補助体制加算算定開始。
- ・令和2年3月から、100対1夜間急性期看護補助体制加算算定開始。

●病院勤務医の負担軽減及び処遇改善

項目①勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施

○令和元年度までの取り組み

- ・医師当直勤務表により連続して当直を行わない勤務体制を構築している。
- ・福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請。

○現状

- ・当直日に配慮し、連続して当直勤務を行わない勤務体制を実施し、医師の負担軽減を図っている。
- ・福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請し負担軽減を実施している。

○令和2年度の目標

- ・引き続き医局の当直勤務表作成の担当者が連日当直にならないよう調整を図るとともに総務担当者による確認を行う。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・達成。
- ・医局当直勤務表作成の担当者が連日当直にならないよう調整を図るとともに総務担当者による確認を行っている。
- ・二次救急輪番日の福島医大救急科の他、特定診療科への当直支援を受け、負担軽減を実施している。

項目②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時刻の休息時間の確保（インターバル）

○令和元年度までの取り組み

- ・各診療科で翌日の業務予定を考慮しオンコール体制を組んでいる。

○現状

- ・各診療科で翌日の業務予定を考慮しながら、オンコール体制を組んでいる。

○令和2年度の目標

- ・主任部長により、休暇申請および時間外申請にて遅くまでの勤務届出を確認する。
- ・前日遅くまでの業務の場合は、支障のない範囲で出勤時間を遅らせる等、各主任部長に、前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間が確保できるよう、継続して配慮要請するとともに完全休日の設定を要請する。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・達成。
- ・各診療科にて翌日の業務予定を考慮し、オンコール体制を組んでいる。
- ・休暇申請および時間外申請の届出を所属長確認の上、提出している。

項目③予定手術前日の当直や夜勤に関する配慮

○令和元年度までの取り組み

- ・各診療科および当直表体制担当により予定手術前日の当直を行わないように配慮している。
- ・福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請。

○現状

- ・各診療科および当直表体制担当により外科系予定手術前日の当直を行わないように配慮している。
- ・二次救急輪番日には、17時～21時のシニア医師の当直支援や福島医大より救急科の他、特定診療科への当直支援を要請し負担軽減を実施している。

○令和2年度の目標

- ・継続して外科系予定手術前日の当直を行わないように、各主任部長および当直表担当者が配慮する。更に内科系予定手術でも前日の当直を行わないように、各主任部長および当直表担当者が配慮する。
- ・手術室の効率的な運用、午前中開始や同一科の複数実施の際の効率運用を推進。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・達成
- ・各診療科および当直表体制担当により外科系予定手術前日の当直を行わないように配慮。
- ・二次救急輪番日の17時～21時にシニア医師の当直支援および福島医大救急科の他、特定診療科への当直支援を受け、負担軽減を実施。

項目④当直翌日の業務内容に対する配慮

- 令和元年度までの取り組み
  - ・各診療科で可能な限り、当直翌日午後からの勤務を免除している。
- 現状
  - ・各診療科で可能な限り、当直翌日午後からの勤務を免除しているが、診療科の特性により実施できないケースがある。
- 令和2年度の目標
  - ・引き続き各診療科で可能な限り、当直翌日午後からの勤務負担の緩和を考慮するように主任部長へ要請する。
  - ・研修医も同様に研修科の指導医による配慮を要請し実施していく。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・研修医は達成。勤務医も可能な限り、当直翌日午後の勤務免除を実施。

項目⑤交替勤務制・複数主治医制の実施

- 令和元年度までの取り組み
  - ・複数主治医制の導入を検討し、可能な診療科より負担の軽減を図る。
- 現状
  - ・複数主治医制を導入している診療科とできていない診療科がある。
- 令和2年度の目標
  - ・主治医と担当医と一緒に回診し患者情報を共有し休みを確保する。
  - ・現在複数主治医制を導入していない診療科に対し、検討し負担の軽減を図るよう要請していく。
  - ・4月より全科二次輪番日における交替制勤務の導入により、勤務明けの休みを確保。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・達成
  - ・配置人員により可能な診療科にて複数主治医制を導入し、負担軽減を図っている。
  - ・4月より全科二次輪番日に交替制勤務を導入。

項目⑥育児・介護休業法第 23 条第 1 項、同条第 3 項又は同法第 24 条の規定による措置を  
活用した短時間正規雇用医師の活用

○令和元年度までの取り組み

- ・子育て中の女性医師に対し、当直免除などの対策をとっている。

○現状

- ・同上。

○令和 2 年度の目標

- ・対象となる医師が発生した場合は、育児・介護休業法で定める期間は、週 30 時間以上の勤務で常勤扱いとなることを考慮しつつ、該当する医師に関しては、短時間勤務の導入を検討していく。

○令和 2 年度の目標の達成状況

- ・達成
- ・育児休業取得対象となる医師が発生した場合は、短時間勤務の申し出、取得について制度を説明。
- ・子育て中の女性医師に対し、当直免除などの対策をとっている。

●医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目初診時の予診の実施

○令和元年度までの取り組み

- ・待ち時間が長くなってしまい、問診コーナー廃止。
- ・玄関での問診票記載の確認、介助、トリアージを実施。
- ・各科外来で診察までに紹介患者、新患の情報収集。

○現状

- ・患者が記載した問診票の漏れや間違い等、正確な情報を把握できないことがあるため、看護師による確認を実施しているが、全ての確認はできていない。

○令和 2 年度の目標

- ・初診の問診票記載時に、看護師が確認して正確な情報収集に努める。

○令和 2 年度の目標の達成状況

- ・玄関で体温チェックを担当する看護師の協力を得て、看護師 2 人で初診時の問診票記載の確認を実施している。

## 項目 静脈採血等の実施

### ○令和元年度までの取り組み

- ・採血室における採血。

### ○現状

- ・検査部の管理で実施している。検査技師1名、看護師1名が専属。看護師1名検査技師1～2名を補助。

### ○令和2年度の目標

- ・採血室専属の検査技師2名と看護師1名が主となっている。そこに手伝いとして外来看護師1名と検査技師の計5名（予約多数時は計6名）で実施している。採血の精度を上げる事、また患者対応にも力を入れ、気持ちよく採血が済むような採血室の運営を目標としている。

### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・コロナの影響から採血台にビニールの仕切りを設け実施している。5台の採血台をフル活用できるように人員を配置しスムーズに採血が行われている。

## 項目 入院の説明の実施

### ○令和元年度までの取り組み

- ・P F M（入退院支援センター）を設置し、一連の流れで、入院決定時と入院日に、必要事項を患者・家族に説明を行う。

### ○現状

- ・入院が決定した日に、入院の案内パンフレットの配布と説明、入院手続き書類の説明、患者プロフィール用紙の書き方等を行う。
- ・入院日に必要書類を確認。
- ・外来看護師・病棟看護師が事務的な説明に介入しないことにより、業務負担軽減を図っている。

### ○令和2年度の目標

- ・P F M内で連携を密にし、入院時の説明をスムーズに行う。

### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・看護師との連携が密にとれており、とてもスムーズに介入ができている。

## 項目 検査手順の説明の実施

### ○令和元年度までの取り組み

- ・検査説明看護師の配置は困難だった。
- ・時間を要する大腸内視鏡検査の説明を、内視鏡センター看護師が行う事にした。

### ○現状

- ・内視鏡センターが多忙時には、内視鏡センター看護師が検査説明ができず、説明待ちの患者を待たせることになるため、外来看護師が検査説明の応援に出向くことがある。

### ○令和2年度の目標

- ・実際に検査（大腸内視鏡）を介助する内視鏡センター看護師が検査手順の説明をすることで、医師や外来看護師の負担軽減に繋げる。

### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・4月から内視鏡センター看護師を4名から5名に増員した。前年度は、内視鏡室繁忙時に外来看護師が検査説明の応援に出向くことがあったが、応援がなくても患者の待ち時間が少なく説明できるようになっている。

## 項目 服薬指導

### ○令和元年度までの取り組み

- ・薬剤管理指導料1，2算定。

### ○現状

- ①薬剤管理指導料1算定件数 2,844件（令和元年）
- ②薬剤管理指導料2算定件数 4,764件（令和元年）

### ○令和2年度の目標

- ①算定件数 3500件（年）
- ②算定件数 4800件（年）

### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・4月～8月 ①1331件 ②1804件

※コロナによる入院患者減少があるが、目標件数達成が見込める。

## 項目 クリニカルパスの活用

### ○令和元年度までの取り組み

- ・入院期間や治療内容を検証し、医療の質の標準化向上。
- ・診療記録の充実、簡素化。

### ○現状

- ・クリニカルパス作成数や使用率等クリニカルパス委員会で集計し、システム掲示板にて周知。
- ・新規パスについては、随時承認。
- ・新規パス作成により医師の指示記載の負担軽減。
- ・業務の可視化により、職種ごとの役割の分担。

### ○令和2年度の目標

- ・電子パスの作成による医師指示入力の負担軽減。眼科（白内障）、外科（鼠径ヘルニア）、婦人科、呼吸器外科で推進。
- ・新規パスの作成。
- ・診療報酬改定に伴うパスの見直し。
- ・在院日数確定によるベッドコントローラーと医師の役割分担、負担軽減。
- ・入院予約オーダーの際にパス適用の運用ではあるが、入院予定日ぎりぎりにパスが適用されている。適用のタイミングを早めに行って頂くよう周知する。

### ○令和2年度の目標の達成状況

- ・5つのパスを電子化。
- ・電子パス移行期間のため、新規パスの作成はストップしている。
- ・電子パス化に伴い、DPCⅡの期間が変更になったものについては修正。

項目 救急医療等における診療の優先順位の決定

○令和元年度までの取り組み

- ・トリアージの研修を受けた看護師を救急センターに配置しトリアージを実施している。

○現状

- ・救急車両で来院した患者の診察介助をする傍らで、ウォークインの患者のトリアージを看護師が実施し、優先順位に即した医師の診察に繋げている。

○令和2年度の目標

- ・トリアージを継続する。
- ・トリアージ研修未受講看護師の受講を勧める。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・院内トリアージ加算算定件数

4月：30件    5月：26件    6月：27件    7月：23件  
8月：36件    9月：33件

計175件

研修受講はしていない。

項目 薬剤師の病棟配置

○令和元年度までの取り組み

- ・2病棟3人体制。

○現状

- ・同上

○令和2年度の目標

- ・2病棟4人体制へ変更。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・コロナにより病棟縮小に対応。
- ・6Aの人員を減らした時期あるが概ね達成。

項目 内視鏡検査手伝い

- 令和元年度までの取り組み
  - ・内視鏡業務における医師の手伝い。
- 現状
  - ・生理検査より派遣。
- 令和2年度の目標
  - ・産休明けの技師・新人技師の教育に努め、応援体制の構築を目標としている。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・2名の技師が産休中であり達成できていない。

項目 耳鼻科領域の検査手伝い

- 令和元年度までの取り組み
  - ・聴力検査等の手伝い。
- 現状
  - ・検査部より派遣。
- 令和2年度の目標
  - ・耳鼻科領域の検査者を増やすことを目標としている。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・数名の技師が検査技術を習得しスムーズに実施している。

項目 病棟・外来の採血管等検査機材の補充

- 令和元年度までの取り組み
  - ・担当を決め各部署の在庫管理をしている。
- 現状
  - ・検査部ほぼ全員で実施。
- 令和2年度の目標
  - ・外来、病棟それぞれの特性を理解し、より無駄を省いた在庫の管理を目標としている。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・達成。

項目 健診部門において心電図要員として技師1名を派遣

- 令和元年度までの取り組み
  - ・健診者の心電図検査。
- 現状
  - ・朝の時間検査部より派遣。
- 令和2年度の目標
  - ・効率よく検査を実施し生理検査業務に戻る。
  - ・臨床検査室からも応援体制をとることで効率よく作業する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・達成。

項目 栄養指導指示書作成

- 令和元年度までの取り組み
  - ・看護師と連携して栄養指導の必要性のある入院患者に対し、栄養指導指示書を代行入力する。
- 現状
  - ・全病棟実施。 件数30件/月。
- 令和2年度の目標
  - ・代行入力件数割合 月75%。
- 令和2年度の目標の達成状況

月	指導件数	代行入力数	%
4	114	91	79.8
5	96	74	77.1
6	125	106	84.8
7	131	105	80.2
8	144	129	89.6

項目 NST ラウンド

- 令和元年度までの取り組み  
—
- 現状
  - ・令和元年度実施件数 1 件。 実施数少ない。
- 令和2年度の目標
  - ・NST ラウンド実施件数を年間12件に増やす。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・4～8月実施件数 3件。

項目 給食オーダーの入力業務

- 令和元年度までの取り組み  
—
- 現状
  - ・フリー入力が多く、オーダー入力が負担。
- 令和2年度の目標
  - ・移動給食カレンダーのマスタを修正し、入力負担を削減する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・コメント登録しワンクリックでそれを選択できるようにした（5月運用開始）。

項目 外来の電子カルテ稼働に向けた支援

- 令和元年度までの取り組み  
—
- 現状
  - ・医師2名（内科1名、眼科1名）代行入力補助。
  - ・問診票入力、紹介状入力支援。
- 令和2年度の目標
  - ・外来診療業務の円滑な流れに寄与する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・4月より循環器内科(医師1名)外来代行入力業務開始。

項目 退院サマリ作成補助

- 令和元年度までの取り組み
  - ・診療情報管理室と連携し、速やかな作成を支援。
- 現状
  - ・2週間作成率90%超えをキープ。
- 令和2年度の目標
  - ・引き続き、2週間作成率90%超えに貢献する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・2週間作成率90%超えをキープするために、退院サマリの作成補助業務を行っている。

項目 外来サマリ作成補助

- 令和元年度までの取り組み
  -
- 現状
  - ・外来サマリの電子化を推進し、電子カルテ稼働を迎えることができた。
- 令和2年度の目標
  - ・引き続き、外来サマリ作成を補助する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・医師より依頼があれば、外来サマリー作成補助業務を行っている。

項目 持参薬の電子カルテ入力

- 令和元年度までの取り組み
  - ・持参薬の電子カルテ入力実施。
- 現状
  - ・持参薬の電子カルテ入力を行い、見読性が向上した。
- 令和2年度の目標
  - ・現状維持と運用方法の検討。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・運用に関して薬事委員会で検討されている。

●看護職員の負担軽減及び処遇改善

項目 病棟・外来のクラーク

- 令和元年度までの取り組み
  - ・平成28年10月より事務的業務を行う看護補助者を配置。
- 現状
  - ・5病棟（4F, 5A, 5B, 6A, 6B）に配置。
- 令和2年度の目標
  - ・病棟クラークの増員。入退院が多い3Bの配置を検討する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・8月現在、5病棟（3B, 4F, 5A, 5B, 6B）に病棟クラークを配置できている。

項目 予約入院や即日入院の入院前介入

- 令和元年度までの取り組み
  - ・入院前に面接を行い患者情報や退院支援介入のアセスメントを行うため看護師長、看護師を配置。
- 現状
  - ・入院前に面接を行い患者情報や退院支援介入のアセスメントを行うため看護師長、看護師を配置。
- 令和2年度の目標
  - ・入院時説明業務の効率化を図るため電子パス運用を推進する。
- 令和2年度の目標の達成状況
  - ・4月より入院前介入を眼科から開始した。
  - ・脳外科、泌尿器科、耳鼻科、循環器内科で電子パスの運用が行われている。今後も他科に推進していく。

項目 夜間における看護業務の負担軽減

○令和元年度までの取り組み

- ・ 2 交替勤務の推進

○現状

- ・ 令和2年3月までの 2 交替勤務病棟：7 F, 4 F, 5 A, 5 B

○令和2年度の目標

- ・ 2 交替勤務の病棟を増やす。
- ・ 3 A 病棟の夜勤人数を 3 人にし、看護職員夜間配置加算 1.6 対 1 配置加算 1 の算定を目指す。

○令和2年度の目標の達成状況

- ・ 2 交替勤務は、5月から 6 A, 外来 ER, 7月から HCU と増えている。
- ・ 年度内に 3 A 救急, 6 B, 3 B が 2 交替、2 人夜勤体制に移行する予定。